

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひだまり作成日: 平成 28 年 9 月 30 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	職員一人ひとりが理念の意義について理解し、日常の介護の中で実践出来るように取り組んでいく。	毎日の申し送りの中で理念を出勤職員で唱和し、理念が、利用者一人ひとりに合わせて、介護サービスに活かされているかを確認し、常に理念を意識した介護を目指していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	施設長を中心に新規採用の職員とチームワークの取れた介護の実践に取り組んでいるが、若手の職員の介護技術の向上と、意識の高揚を目指していく。	これからのニーズに合わせたグループホームを目指し、他事業所の管理者や職員との相互交流を図り、地域のグループホーム間の協力体制を構築し、職員の意識改革と介護力の向上を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。